



平成29年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年7月13日

上場会社名 株式会社ほぼ日 上場取引所 東  
 コード番号 3560 URL <https://www.hobonichi.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 糸井 重里  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO管理部長 (氏名) 篠田 真貴子 (TEL) 03-5657-0033  
 四半期報告書提出予定日 平成29年7月13日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 ( 機関投資家・アナリスト向け )

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年8月期第3四半期の業績 (平成28年9月1日～平成29年5月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年8月期第3四半期	3,219	—	519	—	499	—	340	—
28年8月期第3四半期	—	—	—	—	—	—	—	—
	1株当たり 四半期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益					
	円 銭		円 銭					
29年8月期第3四半期	162.16		161.52					
28年8月期第3四半期	—		—					

- (注) 1 平成28年8月期第3四半期については、四半期財務諸表を作成していないため、平成28年8月期第3四半期の数値及び平成29年8月期第3四半期の対前年同四半期増減率は記載していません。  
 2 平成28年11月29日開催の取締役会決議に基づき、平成28年12月22日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行いました。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しています。  
 3 当社は、平成29年3月16日に東京証券取引所JASDAQ(スタンダード)に上場したため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、新規上場日から当第3四半期会計期間末までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しています。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年8月期第3四半期	3,438	2,975	86.5
28年8月期	3,154	1,985	62.9

(参考) 自己資本 29年8月期第3四半期 2,975百万円 28年8月期 1,985百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年8月期	—	0.00	—	4,500.00	4,500.00
29年8月期	—	0.00	—	—	—
29年8月期(予想)	—	—	—	45.00	45.00

- (注) 1 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 2 平成28年11月29日開催の取締役会決議に基づき、平成28年12月22日付で普通株式1株につき100株の割合で株式分割を行いました。平成28年8月期につきましては、当該株式分割前の実際の配当金の金額を記載しています。

3. 平成29年8月期の業績予想 (平成28年9月1日～平成29年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,817	1.3	500	0.2	484	△3.6	329	7.8	155.48

- (注) 1 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無  
 2 平成28年11月29日開催の取締役会決議に基づき、平成28年12月22日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行いました。当事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり当期純利益を算定しています。

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年8月期3Q	2,315,200株	28年8月期	2,000,000株
② 期末自己株式数	29年8月期3Q	一株	28年8月期	一株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年8月期3Q	2,098,311株	28年8月期3Q	一株

- (注) 1 当社は、第3四半期の業績開示を当事業年度より行っているため、平成28年8月期第3四半期の期中平均株式数を記載していません。
- 2 当社は、平成28年11月29日開催の取締役会決議に基づき、平成28年12月22日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して株式数を算定しています。

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて判断しており、多分に不確定要素を含んでいます。実際の業績は、業況の変化により予想数値と異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

平成29年7月19日(水)に機関投資家・アナリスト向けの決算説明会を開催する予定です。

なお、この説明会で配布する資料につきましては、開催後速やかに当社ホームページ <https://www.hobonichi.co.jp/> に掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
(3) 追加情報 .....	4
3. 四半期財務諸表 .....	5
(1) 四半期貸借対照表 .....	5
(2) 四半期損益計算書 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(セグメント情報等) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間における当社の経営成績は、次の表のとおりです。

	当第3四半期累計期間 (自 平成28年9月1日 至 平成29年5月31日)
売上高	3,219,455千円
営業利益	519,026千円
経常利益	499,449千円
四半期純利益	340,256千円

当社は、「やさしく、つよく、おもしろく」を行動指針とし、人びとに「いい時間」を味わってもらえるコンテンツを提供する事業を行っています。具体的には、ウェブサイト「ほぼ日刊イトイ新聞」、ギャラリーショップの「TOBICHI」、犬や猫と過ごす「いい時間」を軸にしたスマートフォン用写真SNSアプリ「ドコノコ」、いい時間を味わう商店街というコンセプトの「生活のたのしみ展」といった、人びとがよるこんで集まる「場」を築き、こうした「場」で商品を販売する事業を営んでいます。主力商品の『ほぼ日手帳』は売上の約7割を占めます。

当第3四半期累計期間における当社をとりまく事業環境として、個人のインターネット利用及びEC(電子商取引)利用が本事業年度も発展したことがあげられます。総務省によりますと、平成27年末の我が国のインターネット人口普及率は83.0%となりました。また経済産業省の調査では、平成28年の日本国内のBtoC-EC市場規模は、15.1兆円(前年比9.9%増)まで拡大しました。当社の主力商品である手帳の市場規模は、民間の調査結果によりますと、平成28年度では355億円(前年比0.9%増)と底堅い動きになっていると見られています。

こうした環境のもと、主力商品の『ほぼ日手帳』では、手帳カバーとセットで購入できる本体の選択肢を増やし、顧客の利便性を高めました。また、当社サイト「ほぼ日刊イトイ新聞」における英語のコンテンツを充実させたり、中国のSNS「Weibo」で『ほぼ日手帳』の情報発信を開始し、海外ユーザーの認知度を高めることにつとめました。これにより、販売部数は伸長し、『ほぼ日手帳 2017年版』の販売実績は前年版から約5万部増の約66万部となりました。また、当社ウェブ通販において初めて、過去に発売した手帳カバーを販売する「ほぼ日手帳アーカイブショップ」を設けました。さらに、4月下旬から当社ウェブ通販およびロフトの一部店舗で、「アーカイブキャンペーン」として過去のカバーを特集して割引販売したところ好評で、これらが売上に寄与しました。一方、中国等海外ユーザーを中心とした海外販売では、1回当たりの平均購入額が前年に高騰した反動で低下し、結果として『ほぼ日手帳』全体の売上高は前年比微減となりました。

また、今期は新たな事業として「生活のたのしみ展」を立ち上げ、第1回を2017年3月24日～26日に六本木ヒルズで開催しました。これは、「生活のたのしみ」という切り口で、当社がスタイリスト、クリエイター、ブランドを様々なセレクトし、靴、アパレル、生活雑貨、食品といった多彩な商品をプロデュースして「3日間だけの商店街」のように実店舗展開した販売イベントです。3日間トータルでレジ回転数は約15,700回となり、売上に貢献しました。

そのほか新刊書籍やアパレルの新商品などが寄与して売上が伸長し、『ほぼ日手帳』の売上減少分を相殺しています。これらの結果、当第3四半期累計期間における売上高は、3,219,455千円となりました。

平成28年6月に公開した犬や猫の写真SNSアプリ「ドコノコ」のアップデートに伴う開発や、中長期の成長に向けて人材採用及び外部人材への業務委託を積極化したこと、「生活のたのしみ展」の開催費用の発生、新規株式上場に伴い資本金が増加し外形標準課税分の租税公課が増加したこと、等により販売費及び一般管理費が増加し、営業利益は519,026千円、経常利益は499,449千円、四半期純利益は340,256千円となりました。

上記の業績は、当社の運営する「場」が活発にコンテンツを発信し、人びとがよるこんで集まったことによりもたらされたと考えています。当第3四半期累計期間における「ほぼ日刊イトイ新聞」では、料理研究家の土井善晴さんと糸井重里の対談や、「ほぼ日の塾」(「ほぼ日刊イトイ新聞」が、どのように作られているかを教える無料の「塾」)から生まれたコンテンツなどが、多くのユーザーを集めました。ギャラリーショップ「TOBICHI」では、自然写真家の星野道夫さんの展覧会、家電メーカー「バルミューダ」の炊飯器『BALMUDA The Gohan』試食販売イベ

ント、画家・絵本作家ヒグチユウコさんの原画展などを開催しました。犬や猫の写真SNSアプリ「ドコノコ」は平成29年5月までに約13万ダウンロードを達成し、オフ会も数回開きました。

このように、当社は運営する「場」において、さまざまなコンテンツを提供しています。コンテンツとはクリエイティブの集積であり、読み物、キャラクター、画像、イベント、モノのかたちの商品、すべてがコンテンツであるととらえています。当社は、生活のたのしみとなるような「いい時間」を味わってもらう、そのためのコンテンツをつくったり、仕入れたり、育てたり、編集したりして、お届けしています。業績は、こうした活動の結果と考えています。

なお、当社は単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しています。

## (2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

	前事業年度 (平成28年8月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年5月31日)	前事業年度末比増減
資産合計	3,154,953千円	3,438,764千円	283,810千円
負債合計	1,169,385千円	463,232千円	△706,153千円
純資産合計	1,985,568千円	2,975,532千円	989,964千円

### (資産の部)

流動資産は、2,755,169千円と前事業年度末に比べて237,787千円の増加となりました。これは主に現金及び預金の増加866,050千円と、売掛金の減少383,411千円、商品の減少225,493千円によるものです。

有形固定資産は、168,299千円と前事業年度末に比べて15,907千円の減少となりました。これは主に減価償却によるものです。

無形固定資産は、17,072千円と前事業年度末に比べて1,795千円の減少となりました。これは減価償却によるものです。

投資その他の資産は、498,222千円と前事業年度末に比べて63,725千円の増加となりました。これは主に投資有価証券の評価額の増加93,790千円によるものです。

### (負債の部)

流動負債は、307,371千円と前事業年度末に比べて710,492千円の減少となりました。これは主に買掛金が642,881千円減少したことによるものです。

固定負債は、155,860千円と前事業年度末に比べて4,338千円の増加となりました。これは主に退職給付引当金が10,982千円増加したことによるものです。

### (純資産の部)

純資産の部は、2,975,532千円と前事業年度末に比べて989,964千円の増加となりました。これは主に新規株式上場に伴う増資等により資本金が337,486千円及び資本剰余金が337,486千円増加したこと、利益剰余金の増加250,256千円によるものです。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

	平成29年8月期 予想	平成28年8月期 実績	対前期増減率
売上高	3,817百万円	3,767百万円	1.3%
営業利益	500百万円	499百万円	0.2%
経常利益	484百万円	502百万円	△3.6%
当期純利益	329百万円	305百万円	7.8%

通期業績予想は、平成29年3月16日発表の「東京証券取引所JASDAQへの上場に伴う当社決算情報等のお知らせ」の通りであり、公表した内容に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(3) 追加情報

1. 繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期会計期間から適用しています。

## 3. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:千円)

	前事業年度 (平成28年8月31日)	当第3四半期会計期間 (平成29年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,154,291	2,020,341
売掛金	601,382	217,971
商品	615,126	389,632
仕掛品	20,176	14,088
貯蔵品	6,306	2,213
その他	124,503	112,818
貸倒引当金	△4,405	△1,895
流動資産合計	2,517,381	2,755,169
固定資産		
有形固定資産		
建物	160,249	160,249
工具、器具及び備品	91,862	97,465
その他	3,426	3,060
減価償却累計額	△71,330	△92,476
有形固定資産合計	184,207	168,299
無形固定資産	18,867	17,072
投資その他の資産		
投資有価証券	294,777	388,568
その他	139,719	109,654
投資その他の資産合計	434,497	498,222
固定資産合計	637,572	683,594
資産合計	3,154,953	3,438,764
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	698,845	55,964
賞与引当金	54,149	47,211
未払法人税等	136,007	69,404
その他	128,861	134,790
流動負債合計	1,017,863	307,371
固定負債		
退職給付引当金	78,494	89,476
資産除去債務	42,701	42,869
その他	30,326	23,515
固定負債合計	151,522	155,860
負債合計	1,169,385	463,232
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	10,000	347,486
資本剰余金	—	337,486
利益剰余金	1,980,965	2,231,222
株主資本合計	1,990,965	2,916,194
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△5,397	59,337
評価・換算差額等合計	△5,397	59,337
純資産合計	1,985,568	2,975,532
負債純資産合計	3,154,953	3,438,764

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位:千円)

	当第3四半期累計期間 (自平成28年9月1日 至平成29年5月31日)
売上高	3,219,455
売上原価	1,300,858
売上総利益	1,918,596
販売費及び一般管理費	1,399,570
営業利益	519,026
営業外収益	
受取利息	13
業務受託料	1,583
その他	791
営業外収益合計	2,388
営業外費用	
株式公開費用	20,856
その他	1,109
営業外費用合計	21,965
経常利益	499,449
特別利益	
保険解約返戻金	18,142
特別利益合計	18,142
税引前四半期純利益	517,592
法人税、住民税及び事業税	159,548
法人税等調整額	17,787
法人税等合計	177,335
四半期純利益	340,256



## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期累計期間(自平成28年9月1日至平成29年5月31日)

## 1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成28年11月29日 定時株主総会	普通株式	利益剰余金	90,000	4,500	平成28年8月31日	平成28年11月30日

## 2. 基準日が当第3四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第3四半期会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

## 3. 株主資本の著しい変動

当社は、平成29年3月15日を払込期日とする公募による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ270,250千円増加しています。また、平成29年4月17日を払込期日とする第三者割当(オーバーアロットメントによる売出しに関連した第三者割当)による新株式発行により、資本金及び資本準備金がそれぞれ64,860千円増加しています。

また、当第3四半期累計期間において新株予約権(ストックオプション)の行使に伴う新株式発行により、資本金及び資本準備金が2,376千円増加しています。

これらの結果、当第3四半期会計期間末において、資本金が347,486千円、資本剰余金が337,486千円となっています。

(セグメント情報等)

当社はウェブメディアと物販を複合的に行う単一のセグメントであるため、セグメント情報については記載を省略しています。